



R2

- 2050年までにカーボンニュートラル実現を目指すことを宣言（12月議会）

R3

- とちぎカーボンニュートラル実現会議の設置 ～産学官金など各界の代表者からなるオールとちぎ体制の構築～

- 2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ策定

- ✓ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた分野別の取組等を示した具体的な行程表
- ✓ 2030年における削減目標は▲50%（2013年度比）
- ✓ 各分野の取組を牽引する4つ重点プロジェクトを設定

2030年における分野別の削減目標（2013年度比）

県全体	産業	交通	業務	家庭	非エネルギー
▲50%	▲42%	▲46%	▲68%	▲72%	▲23%

R4

- 栃木県カーボンニュートラル実現条例の制定（R5.4施行） ～基本理念・各主体の責務等を明文化～

- ✓ 基本理念：2050年までのカーボンニュートラルの実現を目指し、県・事業者・県民が密接に連携
- ✓ 県・事業者・県民など、各主体の責務や役割、具体的な取組内容等を明記

- ロードマップに掲げる重点プロジェクトのアクションプランの策定 ～2030年度までの目標とその方策を具現化～

① とちぎグリーン成長産業創出 AP

目標：カーボンニュートラルを契機とする**県内産業の成長**

取組：技術開発、新産業の創出・育成の支援 等

③ とちぎ脱炭素先行地域創出 AP

目標：2025年までに**脱炭素先行地域4箇所選定**  
2030年までに**25市町で地域脱炭素の取組に着手**

取組：市町の脱炭素化の取組段階に応じた支援

② とちぎ再生可能エネルギーMAX AP

目標：将来の電力需要量をすべて再エネでまかなうことを目指し、**2030年までに420万kWの導入**

取組：住宅などへの太陽光発電設備の導入支援 等

④ とちぎ県庁ゼロカーボン AP

目標：2030年までに県庁の温室効果ガス**▲80%削減**（2013年度比）

取組：庁舎のLED化、太陽光の導入、公用車の電動化 等

- 法定計画である「栃木県気候変動対策推進計画」の改訂 ～ロードマップの内容を反映し、削減目標等を引き上げ～

- ロードマップの推進体制の強化 ～取組の進捗やその効果を評価し、実務者等による施策の改善を行う体制の構築～

- ✓ ロードマップ評価・検証委員会の新設
- ✓ 分野毎に課題の深掘り等を行うワーキンググループの新設